

昭和二十七年年度調査研究  
項目の決定

昭和二十七年五月決定をみた人口問題研究所昭和二十七年年度の調査研究項目は左のとおりである。

昭和二十七年年度調査研究項目

戦後七年ふたたび危機をはらむ国際情勢裡に独立国家としての自主性は回復されたが、国民経済の再建と自立は、資本の蓄積に、国際市場における競争に、いよいよ緊急の度を加え、国民生活の安定と向上は差し当つてはむしろ一そう難澁な途をたどらざるをえないであろう。そして国民経済的諸困難がわが国今後の人口問題をますます重大化するであろうことは疑いなく、人口政策の見地からする国策の吟味と反省は一段と緊切さを加えよう。よつて基本的かつ総合的な人口国策の樹立に寄與することを主眼とし、本年度調査研究の重点をとくに左の諸点におく。

- 一、わが国人口推移傾向の不断の追跡と検討
  - 二、わが国人口収容力の実態分析とその合理的再編成方策に関する調査研究
  - 三、産児制限、労働市場、社会保障など当面緊急の諸問題に関する人口政策的検討
  - 四、人口問題の国際的動向に関する調査研究
- 右大綱にしたがい両部各科の担当する調査研究細目は以下のとおりである。

二、人口の統計学的調査研究

- 1 社会階級別差別出生力に関する調査研究
  - 2 人口の地域的移動に関する調査研究
  - 3 産業および職業別人口に関する調査研究
- 三、人口収容力に関する理論的調査研究
- 1 産業構造の変化と人口構造の推移に関する調査研究
  - 2 国民所得と生活水準に関する調査研究
  - 3 過剰人口と潜在失業に関する調査研究

四、農村人口に関する調査研究

- 1 農村人口の社会系譜学的調査研究
- 2 兼業及び離農形態に関する調査研究

五、人口政策に関する調査研究

- 1 経済政策における人口政策的要請に関する調査研究
  - 2 社会保障制度の人口政策的意義に関する調査研究
  - 3 産児制限の人口政策的効果に関する調査研究
- 六、海外人口事情に関する調査研究
- 七、内外人口問題関係文献の整備

調査部第二科

- 一、経済社会の進化に伴う人口問題の推移に関する調査研究

- 二、わが国の人口収容力の実態に関する調査研究
  - 1 産業の生産力からみた人口収容力の実態に関する調査研究
  - 2 産業構造の特質からみた人口収容力の実態に関する調査研究

一、人口数理統計学に関する調査研究

- 1 人口数理統計学の発展過程に関する研究
- 2 推測統計学の人口現象への適用に関する理論的調査研究
- 3 標本調査の人口現象への適用技術に関する調査研究

調査研究

- 4 理念人口に関する研究
  - 5 差別生命表に関する調査研究
- 二、ポテンシャルデモグラフィに関する調査研究
- 1 ポテンシャルデモグラフィに関する理論的研究
  - 2 将来人口の推計に関する調査研究

研究

- 三、人口の人類生態学的調査研究
- 四、人口現象の地域的調査研究
  - 1 都市及び農村の人口現象に関する調査研究
  - 2 人口現象の地域的特性に関する調査研究
  - 3 在外日本人に関する調査研究

- 五、世界人口問題の動向に関する調査研究
- 六、産児制限、社会保障、国土計画等に関する人口政策的調査研究
- 七、人口統計資料の整備

調査部第一科

- 一、人口問題の基礎理論的調査研究
  - 1 人口史観に関する調査研究
  - 2 近代人口問題と人口学説の史的発展に関する調査研究
- 3 適度人口理論に関する調査研究

3 雇傭からみた人口収容力の実態に関する調査研究

4 労働の生産性からみた人口収容力の実態に関する調査研究

5 分配関係からみた人口収容力の実態に関する調査研究

6 過剰人口の特質並びにその地域別、産業別及び社会階級別実態に関する調査研究

三、わが国人口の社会階級別再生産構造の実態に関する調査研究

1 中小企業体人口の再生産過程に関する調査研究

2 近代的労働者階級の再生産過程に関する調査研究

3 最低生活水準以下の人口の再生産過程に関する調査研究

四、人口移動に関する調査研究

1 人口移動に関する人口学的、社会学的並びに経済学的調査研究

2 わが国人口移動とくに職業移動の実態に関する調査研究

五、産児制限の社会学的、経済学的調査研究

六、人口の社会学的調査研究

1 人口の社会生態学的調査研究

2 社会形象及び社会意識の推移が人口再生産力に及ぼす影響に関する調査研究

3 人口問題の見地からする家族及び相続制度に関する調査研究

調査部第三科

調査研究

二、人口動態の公衆衛生学的調査研究

1 出産に関する調査研究

2 疾病及び死亡に関する調査研究

3 死産とくに人工妊娠中絶に関する調査研究

4 母性死亡に関する調査研究

5 結核に関する調査研究

三、出産力の遺伝学的並びに優生学的調査研究

1 差別出産力の遺伝学的調査研究

2 結婚に関する優生学的調査研究

四、産児制限に関する社会生物学的調査研究

1 わが国における産児制限の実態に関する社会生物学的調査研究

2 産児制限の技術に関する調査研究

3 夫婦性生活の実態に関する調査研究

調査部第四科

一、人類学的見地からする人口問題の基礎理論的調査研究

1 人口の集団遺伝学的調査研究

2 人口の文化人類学的調査研究

三、民族問題に関する調査研究

1 民族問題と人口現象との関連に関する調査研究

2 差別出産力の民族衛生学的調査研究

三、民族素質に関する人口生物学的調査研究

1 民族素質の遺伝形態に関する調査研究

2 民族人口の老衰過程に関する調査研究

3 人口の移動と民族素質に関する調査研究

四、民族活力に関する社会生物学的調査研究

1 民族活力の社会生物学的の本質に関する基礎理論的調査研究

2 人口再生産力の社会生物学的構造に関する調査研究

3 人口の再生産機能が人口の総機能力中に占める比重に関する調査研究

4 生活余力の増大と人口再生産力の変化に関する調査研究

5 社会生物学的見地からみた現代社会機構の功過に関する調査研究

### 昭和二十七年年度出生力調査の施行

人口問題研究所では昭和二十七年年度調査研究項目の決定にしたがい、その一部として出生力調査を実施することとし、すでに東京都及び埼玉県下での試験調査をおえ、七月一日現在を以て本調査が行われる。今度の調査は昭和十五年一月施行の出生力調査以後十余年をへて再び行われるもので、前回と対比して特に注目すべき点は標本調査の方法により一そう完全な全国的標本をうることをねらっている点で、そのため特に総理庁統計局の労働力調査と平行して行われる。調査要綱を掲げれば左のとおりである。

#### 昭和二十七年年度出生力調査要綱

(昭和二七、四、三〇)

#### 一、調査の目的

昭和十五年の「出生力調査」の施行後十余年の歳月を経過したが、とくに戦時戦後の異常な諸